

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和07年06月16日(月)

1. 基本事項

施策		健康づくりの推進		期間	令和5年～令和9年	施策担当部署名	福祉健康部 保健センター
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	目的・対象	市民一人ひとりが、心と身体の健康に気を配り、定期的に健康状態を確認し、健康の維持、増進に向けた活動を行えることを目指す。		
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり				
	小項目	1	健康づくりの推進				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	健康づくりの推進に対する市民の重要度は高く、満足度も高い状況となっている。			施策推進のための主な取組	健康づくり応援事業、予防接種事業、成人保健指導事業、健康診査事業、特定健康診査等事業、がん検診事業、歯科保健指導事業、母子健康包括支援事業、乳幼児健康支援事業、未熟児養育事業		
施策を取り巻く社会状況等	少子高齢化が進む中、健康寿命の延伸や子どもが健やかに生まれ育つための支援が重要となっている。健診未受診等、疾病の早期発見・早期治療、健康づくりなどへの影響や、核家族化や地域のつながりが希薄化し、妊産婦が孤立して悩みを抱えやすい状況がある。						

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			成果指標	普通の生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合 深谷市民まちづくりアンケート	%	71.40	67.10	68.60
	定期的に健診等を受ける市民の割合 深谷市民まちづくりアンケート	%	76.10	78.70	79.20	79.70	80.20	80.70
	乳幼児健診の平均受診率 受診者数／対象者数	%	99.10	98.70	98.80	98.90	99.00	99.10

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
健康づくりに取組む市民を増やすため、今後も官民協働の健康づくりの継続と働き盛り世代の参加拡大の取組を検討していく。定期的に健診等を受けている市民の割合は、前年度より上回っている。今後も継続して受診勧奨を行っていく。乳幼児健診の受診率は前年度よりやや向上した。今後も受診率の向上に向け、受診勧奨していく。併せて、未受診児についても、継続して全数把握に努める。				
			評価者	保健センター所長 荻塚貴光

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	・ICTを活用した健康づくり・食育推進事業の検討・実施。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	・今後も引き続き、健診等の必要性を周知し受診勧奨に努める。
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	・妊娠前から子育て期は保護者が孤立しやすい。令和7年度から乳児期から就学前までの切れ目ない支援のため、5歳児健康診査を実施し、乳幼児の相談・支援体制の拡充に努める。
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

少子高齢化が進むなか、健康寿命の延伸のため地域で個人の健康づくりを支援する取組を推進していく。また、健康の保持増進のために、健診等の受診の必要性について周知し受診勧奨に努めていく。育児不安を解消し、虐待予防の観点からも乳幼児健診の受診を促し、未受診児の全数把握に努めていく。	
所属長	福祉健康部長 清水良保